

# 数学

## 大阪大学[文系] (前期)

### <全体分析>

試験時間 90 分 解答問題数 3 題

解答形式  
記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少)・やや減少・変化なし・やや増加・増加  
難易 (易化)・やや易化・変化なし・やや難化・難化

#### 出題の特徴

オーソドックスで素直な問題

#### その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

例年のような手のつけにくい問題が出題されなかった

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	三角関数 微分法	数学II	三角関数を用いた3次関数の極大値	やや易
2	確率 数列	数学A 数学B	点の移動についての確率と漸化式	標準
3	三角比・三角関数 式と証明	数学I 数学II	三角形の辺の長さについて不等式を示す	やや易

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

近年はいろいろな分野から出題されているので、どの分野もまんべんなく学習しておく必要がある。また、典型的な問題だけでなく、融合問題も演習しておくこと。さらに、今年度は出題されなかったが、例年、手のつけにくい問題が出題されることが多いので、発展的な問題にも触れておくことが望ましい。